

令和4年3月14日

瀬戸市議会議長 宮菌 伸仁 様

総務生活委員長 浅井 寿美

総務生活委員会 行政視察報告書（江南市）

本委員会は行政視察を実施しましたので、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察期間・行程	令和4年1月17(月) 14:00～15:30 詳細は別紙のとおり
2 視察先	愛知県江南市 (人口 99,780人 令和3年10月末日現在)
3 視察項目	江南市の一般廃棄物処理の現状及び課題について
4 視察者及び随行者	視察者 浅井寿美、朝井賢次、小澤勝、石神栄治 戸田由久、山田治義、臼井淳 随 行 内藤寛之
5 その他	

江南市の一般廃棄物処理の現状及び課題について

1 事業の概要及び事業費	<p>市全域を処理区域として、家庭から出るごみを中心に、その処理を行っている。</p> <p>市が収集するごみは、大きく「可燃ごみ」、「資源ごみ」、「埋立てごみ」、「粗大ごみ」に分別される。さらに資源ごみは、「空き缶類」、「空きビン類（４種類）」、「紙類（４種類）」、「布類」、「ペットボトル」、「トレイ」、「発泡スチロール」、「プラスチック製容器包装類」、「プラスチック類」、「特別ごみ（２種類）」、「中型ごみ」、「剪定枝・草」、「廃食用油」に細分別される。</p> <p>可燃ごみの収集は、７コース全部を委託した収集運搬体制で、資源ごみ、中型ごみ及び埋め立てごみの収集については、市内を１０コースに分割し委託業者による月２回程度の収集運搬体制で実施している。</p> <p>また、資源ごみについては委託業者による収集以外に常設の資源ごみ回収拠点・リサイクルステーションで受け入れている。</p> <p>令和２年度清掃関係決算 １, 791, 867 千円（一般会計に対する割合 ４. 3%）</p>
2 ごみの減量について	<p>平成 10 年より、1 人一日当たり 5 7 g のごみを減らすことを目的に、5 7 運動を始めたが、その背景には、焼却施設の処理能力を超える可能性があるほど、ごみ量が増加していたことがある。</p> <p>具体的には、まだ使用できる不用品を譲渡するリサイクルバンクの活用、食品ロス削減のためのフードドライブ（平成 2 8 年から今まで 1 4 回実施）、生ごみを堆肥化するための生ごみ処理機購入者への補助金（年間 2 0 基～3 0 基の実績）、希望する地域や団体に向けてごみ減量懇談会などで分別等に関する啓発、ごみ処理施設等の見学会開催、ボランティア分別指導員養成講座開催、環境に関するイベント開催、公共施設の紙コンテナの設置、雑紙の回収品目の拡充、剪定枝・草を直接搬入できる場所の設置など。</p>
3 資源物の分別収集について	<p>剪定枝・草は平成 2 4 年から資源ごみで回収。なるべく乾燥させてもらう。回収量は年々増加している。</p> <p>容器包装プラスチックは専用の回収ボックスで回収。</p>

	<p>リサイクルのための分別収集には費用は掛かるが、循環型社会の形成を目指している世の中の情勢においてもリサイクル意識を高めることができるため意義あることと考える。</p>
4 ごみの有料化について	<p>江南市ごみ処理基本計画の中で、事業系ごみ及び家庭系の可燃ごみ、粗大・中型ごみについて、組合及び組合構成他市町と連携し、適正な処理手数料を検討することとしている。</p>
5 考察・所感	<ul style="list-style-type: none"> ・江南市は市役所にゴミ減量推進の街と記した看板が立っており、行政、市民が一体となって取り組んでいる印象を受けた。10年間ゴミ政策に取り組んでいるエキスパートの課長が、あまり細かく分別を促進してしまうと手足を縛られる可能性もあるので、そこは様々な検討を行い、瀬戸市に一番合ったゴミ減量及び再資源化の事業施策を展開してはいかかかと、アドバイスをいただいた。 ・(両市共通) 二市ともに、ミックスペーパー、剪定枝や草についても分別収集の対象とし、生ごみ処理機補助などきめ細かい取り組みがされている。また職員もごみ問題と真摯に向き合い、積極的にかかわってきたことがゴミ減量の好結果につながっていると感じた。本市においても、有料化のみならず今後の取組を明確にし、より多くの市民のみなさんの理解を含める必要があると感じた。